

中 期 事 業 計 画

平成 31 年度～ 33 年度重点事項

社会福祉法人 友愛会

平成 31 年 4 月 1 日
(5 月 1 日以降令和に変更)

第1 平成31年度～令和3年度（3カ年）「友愛会」経営基本計画

平成13年5月に社会福祉法人緑寿会（現友愛会）が設立され、平成14年10月に特別養護老人ホーム山県グリーンビレッジ（入所60、ショート5）が建設されてから、16年が経過し、本年10月から17年目に入ろうとしている。

その間、平成20年4月にはユニット型30床の増床も行い、入所定員90名、ショートステイ5名の中規模の施設となった。

また23年度には、医療法人友愛会との連携強化を目的に、社会福祉法人名も、医療法人と同じく友愛会と法人名の変更を行った。

平成25年10月短期入所施設 長良グリーンビレッジ46床を開設した。

平成28年度から平成30年度までの基本計画の中で掲げた重点目標の達成状況については、

（1）長良グリーンビレッジの安定した経営基盤の確立

平成29年度30年度と稼働率も安定し、30年度は95.06%の過去最高の稼働率であった。職員の離職も非常勤も含め数名で安定した体制が高稼働率を生んだ状況でもある。

（2）利用者サービスの充実と促進

法人全体の離職率が低いので、いわゆる経験の積み重ねが出来、質の向上が計れたが、28年度に結核の集団感染を起こし、利用者、職員ご家族に心配をかけたことを記述し、改めて集団生活における感染症対策に万全を配した。

理学療法士を採用し、長良グリーンビレッジ利用者の在宅生活の支援に積極的に関わり成果を得た。

（3）人材確保・育成及び組織の強化

ここ数年の課題であるが、新聞折り込み等求人を行っても手応えがない。幸い前述のとおり離職者が少数のため、ハローワークからの紹介や本人からの問い合わせ等で法人職員数定数は確保している。障がい者雇用も社会貢献として30年度に支援学校卒の女子を雇用した。

30年1月より常勤の定年を60歳から65歳に延長した。

今期からの3カ年計画においては、山県グリーンビレッジは築17年と設備関係の不具合が出てきているので計画的に対応を考えていく。今後の組織体制を見据えて、若手職員のリーダー等の役職への登用を早急に実施したい

主な重点目標

<1>設備機器の更新等

(1) 山県グリーンビレッジ空調設備、電気錠、ボイラー、浴槽等

(2) 長良グリーンビレッジ定期外壁検査の実施

<2>利用者サービスの充実と促進

利用者の人権と尊厳を守り、きめ細やかな利用者のサービスの充実を図る。

(1) 「個別支援計画」「業務標準化」等の充実と促進を図る。

(2) 感染防止対策に力を入れ、特に結核感染の再発防止に取り組む

(3) 更なる看取りケアの取り組みとケアの向上

(4) 理学療法士を主体とした機能訓練及び自立支援

<3>社会貢献として

(1) 収益の1%程度を地域支援として支出

(2) 障がい者雇用1名予定 (計2名在籍予定)

<4>人材確保と育成及び組織の強化

(1) 第三者評価受審

(2) 介護プロフェッショナルキャリア段位取得取り組み

(3) 将来を見越した職員体制づくり

第2 法人事業計画

[中期目標の実現]平成31年度～令和3年度
安定的経営の実現にむけて

項 目	内 容	時 期 等
1 組織の強化	(1) 人材の確保 ①勤務評価の実施 賞与等に反映 ②人材確保 外国人雇用検討 障がい者雇用1名 ③年次休暇の取得促進6日 (2) 体制の充実 ①職員組織体制づくり ②法令遵守規定の整備 ③資産の効率的運用 ④理学療法士配置による機能訓練の充実	22年度から継続 28年度から継続 令和2年度から 令和2年度 25年度～ 31年度 22年度から継続 21年度から継続 30年度から継続
2 安定経営	1) 事業の充実と展開 ①特養稼働率の向上 97.5%目標 ②ショート長良稼働率 93%目標 ③新たな事業検討	31年度～ 令和3年
3 地域社会へ 貢献と発信	1) 地域との交流 ①実習・研修生の積極的受け入 ②情報発信の推進（ホームページの積極的活用） ③地域貢献への検討	21年度から継続 // 26年度から継続 31年度

第3 山県グリーンビレッジ事業計画

利用者サービスの充実と促進

サービス目標	重点事項	備考
1 利用者本位のサービスの実践	(1) 利用者の尊厳の保持と自立支援 (2) IT を活用した記録の改善と業務の省力化 (3) ADL の低下防止と QOL の向上 (4) 医療的管理の充実と連携 (5) 豊かな食生活を提供と向上 (6) 非日常の場面の設定と外出を含めた余暇活動・行事の積極的な取り組み (7) 介護度 4・5 の積極的受け入れ加算取得、「いのち」への支援	会議等で確認実践 21年度から継続 嘱託医の増員 22年度から継続 委託業者との協働 31年度から 28年度から継続
2 職員の資質向上	(1) 各種外部研修会、大会に積極的に派遣 (2) 専門職としての外部研修に計画的に派遣 (3) 各種会議、委員会を通して課題研修 (4) 資格取得奨励 (5) 介護プロフェッショナルのキャリア段位 15 名取得、アセッサー資格者養成 12 名 (6) 第三者評価受審	初任、中堅、認知症基礎研、生活相談員研修、ユニットリーダー研修など 介護福祉士等資格取得に助成金 28年度から継続 令和3年度

<p>3 安定経営への努力</p>	<p>(1) 収入確保と経費節減 稼働率 97.5 %目標 (入所+短期)</p> <p>(2) 人材の確保 ①経営状況等情報開示し、職員参加型の経営をする。また収入を確保し待遇の向上を図る。 ②障がい者雇用 1 名増員</p> <p>(3) 施設・設備の維持 空調設備、電気錠 ボイラー交換その他</p>	<p>31 年度から</p> <p>介護職の年収 450 万の実現 31 年度</p> <p>令和 2 年度</p> <p>31 年 令和 2 年から</p>
<p>4 地域社会との協働と貢献</p>	<p>(1) 地域との連携・発信の強化 ①地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携 ②医療法人友愛会との連携 ③地域子ども見守り運動参加 ④市との連携 ⑤収益の 1 %地域支援</p>	<p>21 年度から継続</p> <p>令和元年度から</p>

第 4 長良グリーンビレッジ

事業種別 短期施設入所 (ショートステイ)
 予定地 岐阜市長良福光 1 6 1 - 1 (旧岩砂病院活用)
 定員 46 名
 沿革 平成 25 年 10 月事業開始 1 フロア
 平成 26 年 4 月 2 フロア稼働

サービス目標	重点事項	時期等
1 体制の構築	①組織体制の強化 権限と責任の明確化 フロア担当責任者から主任配置へ	28 年度から継続 30 年度から継続

	②人材育成 早期の退職者減 個別教育担当配置	29年度から継続
	③配置人員の見直し、適正配置	28年度から継続
	④稼働率の向上 93%目標	31年度
2 利用者サービスの向上	①在宅時の支援継続を考える ② 個別処遇への対応 ③緊急入所の受け入れ ④利用者情報の共有し事故等減らす ⑤理学療法士との協働	25年度から継続 30年度から継続
3 職員の資質向上	(1) 介護プロフェッショナルのキャリア段位3名取得、アセッサー資格者1名養成 (2) 介護福祉士資格取得奨励2名	31年度から
4 地域福祉との協働と貢献	岐阜市、ケアマネ事業所との連携 長良カフェの継続	25年度から継続 29年度から継続